

令和4年度社会福祉法人正清会事業報告書

法人の基本理念である「尊厳」「敬愛」「和」の具体的な実践のため、令和4年度のテーマを「One Family ～全職員が結束して、困難に立ち向かう～」として、以下5項目の重点目標を中心に、各事業所で取り組みました。

【重点目標に対する取り組み】

1. 永続的な法人運営のため、経営の安定化を図る
 - 1) 稼働率の維持・向上を図り、より多くの在宅サービス・施設サービスの提供に努めた。
 - 2) 業務の効率化を図り、職員の効率的な登用・異動・配置を行った。
 - 3) サービスの質は落とさず、事務費等間接経費の削減に努めた。プラスチックグローブ等消耗品の価格検討を随時行い、また日本テクノのデマンドサービスを導入し、節電に努めた。
 - 4) 協力病院や居宅介護支援事業所と連携し、退居からスムーズに新規入居までスムーズに調整を行い、空床の削減に努めた。
2. 入居者・利用者の自立支援
 - 1) 科学的介護情報システム（LIFE：Long-term care Information system For Evidence）を用いたサービスを提供し、加算の算定を行った。
 - 2) 自立（自律）を目指したケアプランに添った介護サービスの提供に努め、本人や家族、介護支援専門員へ丁寧な説明を行った。
 - 3) 研修を通じ、個別ケア・ユニットケアの見識を深め、食事・入浴・排泄等日常の介護サービスの個別化への取り組みを行った
3. 人材の確保・定着・育成
 - 1) 働きがいのある、魅力ある職場づくりへの取り組みを行った。職場改善プロジェクトの会議を毎月開催し、職員の声を吸い上げ、風通しの良い組織づくりに努めた。特別養護老人ホーム白松苑に、施設内売店を設置した。山口県より特別養護老人ホーム白松苑は、「やまぐち働きやすい介護職場宣言」認証事業所として認証を受けた。
 - 2) 新任職員への研修体制を見直し、感染症対策や事故防止についての研修を強化した。
4. 事故防止・感染防止
 - 1) 新型コロナ、インフルエンザ、ノロウィルスの感染防止に努めた。新型コロナウイルス感染症によるクラスターが、特別養護老人ホーム白松苑、賀宝の里白松苑、グループホーム白松苑で発生するも、保健所や協力病院との連携により、大事に至らず終息させることができた。
 - 2) 重大事故の減少に努めた。
5. 防災対策・地域貢献
 - 1) 山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会への参加し、特に災害時、社会福祉法人が地域に協力ができるよう話し合い、体制を整えた。また地元自治会との防災協定に基づき、一時的な避難所としての準備を行った。
 - 2) 地震や洪水を想定した自然災害への対応訓練、消防と連携した火災・避難訓練を実施した。

法人本部

1 理事会

- 1) 日時：令和4年6月9日 17:00~17:50 場所：白松苑会議室
理事総数6名、出席者：理事6名 監事1名
議事 議案第1号 令和3年度事業報告並び決算について
議案第2号 定款の変更について
議案第3号 賀宝の里白松苑、グループホーム白松苑の外壁改修工事について
議案第4号 定時評議員会の開催について
報告事項 理事長の職務執行状況について
- 2) 日時：令和4年11月21日 16:00~16:50 場所：白松苑会議室
理事総数6名、出席者：理事6名 監事1名
議事 議案第1号 資金運用規程の変更について
議案第2号 経理規程の変更について
議案第3号 社債の購入について
議案第4号 土地の購入について
議案第5号 定時評議員会の開催について
報告事項 理事長の職務執行状況について
- 3) 日時：令和5年1月25日 16:30~17:10 場所：白松苑会議室
理事総数6名、出席者：理事5名 監事1名
議事 議案第1号 土地の売却について
議案第2号 評議員会の開催について
報告事項 理事長の職務執行状況について
- 4) 日時：令和5年3月10日 16:00~16:50 場所：白松苑会議室
理事総数6名、出席者：理事6名 監事1名
議事 議案第1号 定款の変更について
議案第2号 令和4年度第二次補正予算について
議案第3号 令和5年度事業計画並びに収支予算について
議案第4号 監事の選任について
議案第5号 評議員会の開催について
報告事項 理事長の職務執行状況について
土地の売却について

2 評議員会

- 1) 日時：令和4年6月24日 14:00~14:50 場所：白松苑会議室
評議員総数7名、出席者：6名、議長：小野資博評議員
議事 議案第1号 令和3年度事業報告並び決算について
議案第2号 定款の変更について
議案第3号 賀宝の里白松苑、グループホーム白松苑の外壁改修工事について
報告事項 理事長の職務執行状況について

- 2) 日時：令和4年12月6日 14:00～14:50
評議員総数7名、出席者：5名、議長：兼重隆文評議員
議事 議案第1号 資金運用規程の変更について
議案第2号 経理規程の変更について
議案第3号 社債の購入について
議案第4号 土地の購入について
報告事項 理事長の職務執行状況について
- 3) 日時：令和5年2月8日 14:00～14:20
評議員総数7名、出席者：6名、議長：中野史子評議員
議事 議案第1号 土地の売却について
報告事項 理事長の職務執行状況について
- 4) 日時：令和5年3月27日 14:00～14:50
評議員総数7名、出席者：7名、議長：古谷愛子評議員
議事 議案第1号 定款の変更について
議案第2号 令和4年度第二次補正予算について
議案第3号 令和5年度事業計画並びに収支予算について
議案第4号 監事の選任について
報告事項 理事長の職務執行状況について
土地の売却について

特別養護老人ホーム白松苑

1 事業概要

新型コロナウイルス感染防止に努めながら、入居者の希望に添い、健康で安全な暮らしを提供するように、事故防止、褥瘡予防、感染症防止に努めました。地域に信頼される施設運営を心がけ、ユニットケアの推進、職員の働きやすい環境づくりに努めました。

2 主要事業

1) 経営管理

稼働率の目標を特養(定員100名)94%としていたが、2度のクラスター発生により新規の入居者を受け入れることができず、目標を下回った。

2) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症を防ぐため、入居者・職員の感染予防に努めた。またクラスター発生時も、入居者・職員のユニット間の移動をなくし、感染拡大を防ぐことができた。

3) 自立支援

入居者の24Hシートの作成に取り組み、個別ケアの充実を図った。また看取りの取り組みを行った。コロナ禍でも、家族の面会が確保できるよう、窓越しの面会を実施した。

4) 働きやすい環境づくり

職場環境プロジェクトチームを中心に施設内での課題について議論、積極的な意見交換を行った。職員の意見を反映させ業務改善、必要な物品購入等を行い、風通しのよい職場づくりに

努めた。この取り組みが評価され、県より「やまぐち働きやすい職場づくり宣言認証事業所」として認証された。

5) 経費の節減

コロナ禍において衛生材料等の購入価格を見直し、経費の節減に努めた。電気代について、デマンド管理を導入し、電気使用量の削減に取り組んだ。

6) 人材の育成

新任職員の研修体制を見直し、特に感染症対策や緊急時の対応についての研修を充実させた。また、リーダーがより責任をもって介護に取り組めるよう、介護職員の組織体制を見直した。

3 介護保険の実績

()は前年度

	入所定員	稼働率 %	平均要介護度	年間利用人員 (延べ)
正規入居者	100	90.7 (93.3)	4.01 (3.87)	33,096 (34,038)
短期入所	20	85.5 (82.4)	2.35 (2.23)	6,241 (6,016)
利用者総数	120	89.8 (91.4)	3.75 (3.62)	39,337 (40,054)

4 季節の行事等

実施時期	内 容
5月	母の日行事 (各ユニットで実施)
6月	父の日行事 (各ユニットで実施)
8月	地藏尊大祭 (住職による読経は中止)
9月	敬老会
12月	クリスマス会 (各ユニットで実施)
1月	お正月お祝い膳
2月	節分行事
3月	ひな祭り

5 定例的又は随時行われる娯楽等

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 誕生日のお祝い | 毎月 (各ユニットで個別にお祝い) |
| (2) 苑内ショッピング | 毎週注文による配達 |
| (3) 一般買い物 | 必要の都度随時 |
| (4) ミニ喫茶 | 毎日 午前午後 |
| (5) ぬり絵・ちぎり絵 | 希望時 随時 |
| (6) 習字クラブ (個別対応) | 希望時 随時 |

6 ボランティア等による舞踏等

阿知須幼稚園へ利用者の手づくりカレンダーを手渡す

7 健康・衛生に関する事業

実施時期	内 容
5月	職員の定期健康診断（夜勤者・腰痛検診）
7月	入居者定期健康診断
11月～3月	職員の定期健康診断（全員・腰痛検診）
10月	入居者・職員 インフルエンザ予防接種
4月～3月	入居者・職員 新型コロナ予防接種
毎週 月・金	医師による回診
毎月1回	衛生委員会及び産業医による巡回指導
随 時	口腔ケア及び指導
毎月2回	訪問散髪（きらら、ゆうとぴあ）
毎月1回	厨房職員検便（6月～9月は月2回）
毎月1回	ゴキブリ駆除（厨房12回、居室その他年2回）
入居者入居時	入居時健康診断

8 家族との連携に関するもの

全家族へ毎月入居者のお過ごしの様子を写真にて送付

新型コロナウイルスの感染状況に応じた面会受入れ（窓越し・地域交流ホールにて）

9 地域交流に関する事業

1) ボランティアの受け入れ

受入れなし

2) 山口市いきいき百歳体操出張指導

依頼なし

3) 介護予防出張講座

依頼なし

4) その他

令和4年11月22日 福祉車両贈呈（中国地方郵便局長協会）

10 実習生等の受け入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
社会福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	3
介護福祉士	中村女子高等学校	3	36
介護福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	12
合 計		5	51

11 体験学習

種 別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士実務者研修	YIC 看護福祉専門学校	1	1
福祉の職場体験	山口県福祉人材センター	1	1
合 計		2	2

12 建物補修及び設備・機器の更新等

駐車場用地（土地）購入	6,739,515 円
ナースコール基盤破損修理（落雷）	138,600 円
3F マルチエアコン室外機基盤交換修理	475,000 円
パソコン（栄養科）	169,400 円
給食システム（ソフトウェア／栄養科）	1,353,000 円
冷凍庫（栄養科）	352,123 円
真空包装機（栄養科）	698,377 円
駐車場看板設置	109,780 円
セキュリティ機能付きルーター	290,000 円

白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

洗濯や簡単な調理等の手段的日常活動動作（IADL）を通して、身体を動かす機会を多く持ち、やりがいを感じて役割を持ってもらえるような働きかけを行いました。また、プログラムを自主的に選択できるようにすることで個別化を図り、多様なレクリエーションを通して認知面への働きかけも積極的に行いました。

コロナ禍の中でも少しずつ外出する機会を増やすよう、歩行訓練を兼ねて、屋外の散歩を万歩計を付けて目標値を設定して個別に行いました。また体験利用を積極的に受け入れ新規利用に繋がるよう努めました。

2 主要事業

- 1) 在宅生活の継続を目指し、質の高い個別ケア・機能訓練を実践した。
 - ①個別機能訓練の強化として、ADLに合わせた製作活動、歩行訓練を兼ねた散歩等柔軟な対応に努めた。
 - ②家族、ケアマネジャー、関係者との緊密な情報共有を図り、ニーズに応じた個別ケアや機能訓練を行った。
- 2) 職員の接客力、チームワーク、モチベーションの向上
 - ①内部研修や外部研修を通して、利用者に対する配慮やもてなし、気配りなどの接客力の向上に努めた。
- 3) 利用者の満足度のアップと稼働率の増加に向けた対策
 - ①日々のレクリエーションの実施と個別課題の充実をはかり、稼働率の向上に努めた。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

利用定員	稼働率%	平均要介護度	営業日数 304 日 一日平均利用者 15.2 (15.0)
30	50.7 (50.0)	1.45 (1.50)	

4 季節の行事等

実施時期	内	容
4月		花見（桜）

6月	運動会
12月	クリスマス会
2月	節分

5 ボランティア等による舞踏等

すべて中止

6 実習生等の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士	中村女子高等学校	3	30
介護福祉士	YIC 看護福祉専門学校	2	6
合 計		5	36

7 建物補修及び設備・機器の更新等

特になし

グループホーム白松苑

1 事業概要

『一人ひとりの思いを把握し、穏やかで楽しく生活していただくよう寄り添う介護に努める』を基本方針に、「その人らしい暮らしを支える」、「家族のように共に生活する。」、「地域の方とふれあいを持つ」という事業所理念のもと、地域と一体的なグループホームを目指すことに取り組みました。

2 主要事業

1) 稼働率の目標 92% (定員 18 名)

①早期の入居調整などに取り組み、目標稼働率を上回った。

2) 感染症・事故対策の実施。

①換気や消毒などを行い感染症対策を実施したものの、クラスタが発生した。

発症者は施設内で療養し、感染症による入院はなかった。

②体操や散歩などを積極的に実施し、転倒事故の軽減に取り組んだ。

3) 認知症ケアの質を高め、利用者に寄り添った個別ケアを行う。

①生け花・レクリエーション・カラオケ・脳トレなどを実施し、食事時間や場所の調整、居室の設えなどの個別対応を強化した。

②一人ひとりの症状への対応や困難事例をはじめ、毎月認知症についての職員勉強会を開催した。

4) ICT を活用した地域との交流の方法や運営推進会議の開催の検討。

①ICT を活用した外部研修へ参加した。

②ICT を活用した地域との交流や運営推進会議の実施までには至らなかった。

3 介護保険事業の実績

()

は前年度

入所定員	稼働率 (%)	平均要介護度	年間利用人員 (延べ)
18	98.4 (94.0)	1.88 (2.47)	6,463 (6,157)

4 季節の行事等

実施時期	内 容
4月	花見(桜)、ドライブ
5月	母の日、かしわもち作り、ぎょうざ作り、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
6月	七夕飾り作り、防災訓練、誕生会
7月	七夕、ドライブ、誕生会
8月	クラスタのためなし
9月	敬老会、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
10月	十五夜、お茶会、誕生会
11月	焼き芋、誕生会
12月	干支(兎)粘土細工作り、餅つき、クリスマス会、防災訓練、誕生会
1月	おせち料理、初詣、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
2月	節分(豆まき)、誕生会
3月	ひなまつり、花見(菜の花)、防災訓練、誕生会

※新型コロナウイルス感染症流行のため、多くの行事や外出を自粛

5 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
4月	なし	書面にて活動報告
6月	なし	書面にて活動報告
8月	なし	書面にて活動報告
10月	なし	書面にて活動報告
12月	なし	書面にて活動報告
2月	なし	書面にて活動報告

6 ボランティア等による舞踏等

すべて中止

7 実習生等の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士	Y I C看護福祉専門学校	2	6
合 計		2	6

8 建物補修及び設備・機器の更新等

外壁等改修工事	7,579,440円
洗面台、湯ポット取替工事	272,800円
非常照明蓄電池取替(9カ所)	188,100円
浴室水栓取替工事	359,700円

白松苑居宅介護支援事業所

1 事業概要

『自立支援のためのきめ細やかな相談対応』を目標に、利用者一人ひとりの意向を尊重することで、安心と安全のある自宅生活が継続できるサービスを、また、ご家族にとっては介護負担の軽減を図ることのできる介護支援サービスを実施してきました。施設入所や長期入院を余儀なくされた利用者もおられましたが、利用者が自宅において少しでも自立できるようなサービスの取り組みを行うことができました。

コロナ禍の影響で研修や事例検討の機会は減少しましたが、地域包括支援センターや他の居宅サービス事業所と緊密な連携を図ることに心がけ、利用者にとって総合的かつ効率的なサービス提供に役立てました。

2 主要事業

1) 利用者の自立支援と満足度の向上

- ①可能な限り研修に参加し、マネジメント力の向上に努めた。
- ②ケアマネジャー2人体制で支援を行い、事業所内での話し合いや他事業所との連携を図り、利用者の自立支援と満足度の向上のための介護サービスとインフォーマルな支援の提供を行った。

2) 関係機関との密接な連携による迅速な対応

- ①地域包括支援センターとの連携を密にし、利用者だけでなくその同居家族に対しても支援していく体制を図った。
- ②各種居宅サービス事業所、医療機関及び他の関係機関との連携により、利用者の状態把握を適確に行い、リアルタイムにサービスが提供できるよう努めた。

3) 専門的知識及び技術の習得・向上

- ①コロナ禍のため、例年に比べ外部研修への参加は減少したが、定例の居宅支援部会や主任介護支援専門員更新研修受講のための要綱研修等への参加を通して、専門的知識及び技術の習得・向上に努めた。

3 事業実績（訪問回数）

年度	年間	月平均	年間	月平均	年間計	月平均		
令和4年度	要介護	283人	23.6人	要支援	0人	0人	283人	23.6人
令和3年度		565人	48.0人		12人	1人	577人	48.0人

賀宝の里白松苑

1 事業概要

令和4年度の施設運営テーマは、「行動（理念を実践に活かせ）」。昨年度のテーマ「考える」で、考えたことを今度は実際に行動で示していくということを総体的に取り組みました。

離職による明らかな人材不足と、新型コロナウイルス感染症におけるクラスターの発生により更に通常の体制によるケアが困難を極めた中で、職員一人ひとりが連携を取り積極的な発想のもとで日常業務や各種委員会活動を維持しました。

面会の規制、地域行事の中止、ボランティア等の受け入れ中止など、昨年度に引き続き、新型

コロナ感染拡大防止対策を優先する事業運営となったが、ユニットリーダー実地研修での受講者の受け入れは6月より再開しました。

2 主な取り組み

1) 経営管理

- ・目標としていた稼働率（特養：98.5%、SS：99.9%）は達成できなかったが、収益は前年度を上回った。平均稼働率がかなり低い状況にありながらも例年並みの収益を確保できたのは、平均介護度が4以上を維持できた点と、10月からのベースアップ等支援加算が大きな要因といえる。
- ・節約の面においては、おむつ類では一部の商品に対してメーカー変更したことで約70万円のコストカットができたが、電気代ではデマンド値を88から86に設定変更しデマンドコントロールを行ったものの使用電力量が多かったため節約に至らなかった。給食費は例年並みを維持。

2) 運営管理①（自立支援に向けた質の高いサービス提供）

- ・各部署及びユニットにおいて年間の具体的な目標を設定し、3か月毎に目標に対する進捗状況を運営会議の場で報告し、評価・課題について現状分析を行った。
- ・取分け配膳については、各ユニットと管理栄養士が協議を重ね、一からの見直しを図った。その中でまずは、朝の味噌汁を適正な時間に作るよう改善を図った。
- ・アセスメントシート、24Hシート及び一覧表、ケアプラン等の更新においては、人力的な問題もあったため定期的な作成ができなかったが、昨年度に続き、ユニットケア推進センターからの実地研修施設更新調査項目を基に自己チェックを行い、不備な点に対する改善に取り組んだ。
- ・各リーダー同士、介護主任とリーダーの密接な情報交換と職員間における情報の共有化においては、PC（メッセージャー）を積極的に活用するよう取り組んだ。

3) 運営管理②（リスクマネジメント）

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策では、一昨年度より引き続き職員の行動自粛、入居者の面会制限、業者の立入禁止等により予防対策の強化と徹底を図った。クラスタの発生により1ユニットを閉鎖したが、関係機関や保健所との連携のもとで対処。（感染者：入居者5名・職員10名）
- ・また、義務付けとなった感染症対策の実地訓練を実施。実地訓練の様子をビデオ撮影し、検証と評価を行った。（独自の評価点を算定）
- ・事故防止においては、事例を使った内部研修にするよう検討したが、事例の収集が上手くいかずあまり実践できなかった。

4) 人事管理

- ・ホームページの掲示板への書き込みを積極的に行い、施設のPRに努めた。
- ・各職種・段階ごとの人材育成マニュアルの作成に取り組んだが、未だ作成途中となった。

5) 設備管理

- ・施設の外壁塗装工事を実施。その他、エレベーターの大規模な部品交換、各部署に配置しているPCの交換（新規リース契約）、居室エアコンの取替え、厨房機器の取替え等を行った。

6) 防災対策

- ・ 山口市主導の避難所の指定に対する協議・確認、必要な調整は、行政からの連絡がないため実施していない。
- ・ BCPの策定については検討段階。感染症対策部門では義務化となった実地訓練を実施。(ビデオ撮影による評価・課題分析を実施)

3 介護保険事業の実績

() は前年度

	定員	稼働率 %	平均要介護度	年間延べ利用人員
特 養	30	94.3 ↑ (92.9)	4.10 ↓ (4.14)	10,331 ↑ (10,170)
短期入所	7	88.5 ↓ (93.1)	2.43 ↓ (2.94)	2,262 ↓ (2,379)
合 計	37	93.29 ↑ (92.9)	3.80 ↓ (3.91)	12,593 ↑ (12,549)

4 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4月	花まつり(中止)、清光園祭(中止)、ユニット単位での花見(お花見御膳)
5月	母の日行事(各ユニット)、教證寺説法(寄付のみ)、河内神社春祭り(中止)
6月	父の日行事(各ユニット)
7月	七夕行事(未実施)、賀宝花火の夕べ(職員駐車場にてユニット毎に実施)
8月	佐山地区盆踊り(中止)、JAそうめん流し(中止)
9月	賀宝敬老祝賀会(各ユニットにて表彰・全体での余興なし) 佐山地区敬老会(中止)、佐山地区防災訓練(中止)
10月	教證寺説法(中止)
11月	佐山地区ふるさとまつり(不参加)、川西地区収穫祭(中止)
12月	もちつき・たこあげの会(中止し、ユニット毎に代替えイベント実施) 阿知須幼稚園交流会(中止)、佐山小4年生総合学習(中止) 年末大掃除(業者ワックスがけ)
1月	初詣(ユニットごとに実施)、お正月祝い御膳 佐山地区七草がゆ交流会(不参加)、佐山地区どんと焼き(不参加)
2月	節分(各ユニットにて豆まき実施)
3月	ひなまつり(未実施)

5 娯楽・余暇活動

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ①お散歩カフェ(毎月1回) | ・・・7月・9月・11月・12月は中止 |
| ②各種サークル活動(毎週1回) | ・・・中止 |
| ③朝のイトウの会(平日毎朝の口腔・嚥下体操) | ・・・5月:13回/6月:12回 |
| ④各種ボランティアサークル | |
| ・歌おう会(隔月1回) | ・・・中止 |
| ・詩吟教室(毎月1回) | ・・・中止 |
| ・茶道の会(毎月1回) | ・・・中止 |

・習字教室（佐山ありの会／隔月1回） ……中止

6 ボランティアの受入れ（DSと一体的に対応）

実施時期	内 容
4月	・花まつり（教證寺住職・仏教婦人会）＊中止
5月	・ギター演奏（おじさんズ）＆歌おう会（コスモス）＊中止 ・佐山ありの会による施設周辺の草取り
6月	・フラダンス・銭太鼓（佐山健康銭太鼓）＊中止
7月	・歌おう会（コスモス）＊中止
8月	・サンバ隊訪問（JA山口中央）＊中止
9月	・歌おう会（コスモス）＊中止
11月	・ギター演奏（おじさんズ）＆歌おう会（コスモス）＊中止 ・窓ふき奉仕清掃（仏教婦人会）＊中止
12月	・もちつき・凧づくり・凧上げ教室（佐山ありの会、地域有志）＊中止 ・フラダンス・銭太鼓（佐山健康銭太鼓）＊中止
1月	・歌おう会（コスモス）＊中止

7 健康管理・衛生管理

実施時期	内 容
4月～5月	介護職員の特殊健康診断（夜勤者／腰痛）
5月	入居者レントゲン健康診断（結核）
7月	第4回新型コロナワクチン接種（入居者）
8月	第4回新型コロナワクチン接種（職員）
10月・11月	インフルエンザ予防接種（入居者、職員）
11月	職員定期健康診断（全員、腰痛健診）
12月	第5回新型コロナワクチン接種（入居者・職員）＊オミクロン対応
毎週水曜日	配置医師による回診
毎月2回	歯科医師又は歯科衛生士による口腔ケア及び指導
毎月1回	訪問理美容（カンテック）
毎月1回 （6月～9月は月2回）	厨房職員検便
毎月1回	ゴキブリ駆除（厨房12回、居室その他年2回）＊中止
毎月1回	害虫駆除（厨房：小蠅 / 外周：ムカデ）
入居者の入居時	入居前健康診断
入居者の誕生日	入居者定期健康診断
職員の採用時	雇用前健康診断

8 家族との関わり

- 1) 広報誌「かがほの風」及び「相談員だより」の配布 ……毎月発行・送付
- 2) カンファレンスへの参加、ケアプランの同意等 ……各ケースともに6カ月ごとの実施
- 3) ガラス越し面会の実施（オンライン面会は廃止） ……随時
*行事等への参加は全面的に禁止

9 地域交流・公益的活動

1) 自治会活動参加

名 称	実 績	延人数（前年度）
河内神社春祭り（ふきあげ会出店の手伝い） *中止	年間 1回	0 (0)
出口溜池管理道・公園等の草刈清掃	年間 2回	3 (4)
佐山地区溝普請	年間 2回	6 (6)
お薬師様接待・後片付け *盆踊り会場設営は中止	年間 1回	0 (0)
地域合同自主防災訓練・炊き出し参加 *中止	隔年 1回	0 (0)
佐山地区ふるさとまつり実行委員会出席	年間 1回	1 (0)
佐山区自治会評議員会・佐山西自治会班長会議 *総会は書面決議	年間 8回	8 (6)

2) 介護予防出張講座（DSと一体的に対応）

日時	テーマ	地区	主 催	参加者	講 師
4/21	認知症予防	小郡	明治いきいきサロン	13人	介護福祉士
6/11	食事の工夫	秋穂	サロン中杖	20人	管理栄養士
9/ 9	食事の工夫	小郡	おごおり介護者の会	7人	管理栄養士
10/21	高齢者の健康管理	小郡	ワイワイクラブ	12人	看護師
2/17	食事の工夫	小郡	ワイワイクラブ	15人	管理栄養士

3) 土砂災害に係る避難指示を想定した情報伝達訓練（山口市）の参加

日時：令和4年5月 日

内容：ファックスを使用した情報伝達訓練 *不参加

10 実習生の受入れ

実習種別	実習期間	実人数
ユニットリーダー実地研修 （ユニットケア推進センター）	6月 7日～6月10日	2人
	6月21日～6月24日	2人
	7月 5日～7月 8日	2人
	7月19日～7月22日	2人
	9月27日～9月30日	2人
	10月 4日～10月 7日	1人
	10月18日～10月21日	2人
	11月15日～11月18日	2人
	11月29日～12月 2日	2人
	12月13日～12月16日	2人
	計29名	

11 体験学習（DSと一体的に対応）

- ・川西中学校職場体験学習 ……0名
- ・山口県身体拘束ゼロ推進員養成研修（見学学習） ……中止
- ・佐山小学校4年生総合学習 ……中止

12 施設見学、介護相談員派遣事業（市社協）の受入れ

- ・ 対外的施設見学 ……不可
- ・ 個別相談 ……0名

13 施設維持補修等

建物設備の補修（外壁工事）	28,854,363円
エレベーター改修（各種主要部品交換）	946,000円
居室エアコン取替工事費（7居室）	526,680円
厨房関係機器の部品交換等	234,300円
浄化槽制御盤架台交換	488,400円
1階玄関自動ドアセンサー交換	101,200円

賀宝の里白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

令和4年度の施設運営テーマは、「行動（理念を実践に活かせ）」。昨年度のテーマ「考える」で、考えたことを今度は実際に行動で示していくということを総体的に取り組んでいった。

デイサービスセンターとしての理念（「自宅で暮しの継続」）を改めて再認識するとともに、利用者個々の利用目的をしっかりと捉えた個別ケアに取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症で利用不可となった利用者延人数が年間で104人に上ったが、例年以上の稼働率をあげることができた。

2 主な取り組み

1) 経営管理

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標稼働率（85%）にはわずかに届かなかったが、通所介護における高稼働率と目標平均介護度（1.5）を維持することができたことにより、想定していた予算収益をかなり大きく超えることができた。
- ・ 新規利用者の獲得や体験利用の受入れについては、常習的にケアマネ等と報連相を行っていた他、困難ケースも積極的に受け入れていき、信頼度の向上に努めた。
- ・ 経費削減においては、今まで業者発注していたおやつ類や消耗品を低コストの店舗に出向いて購入するよう切り替えを図った。

2) 運営管理①（自立支援に向けた質の高いサービス提供）

- ・ 昨年度に引き続き、個別対応に取り組んできた。また、利用者個々のニーズを明確にし、情報共有を図りながら、個々のニーズに応じたアクティビティを実践した。（ケアのあり方を理解）
- ・ 時間励行（送迎の出発時間、体操開始時間の厳守）に努めるなど、自覚と責任感を持って業務に当たり、利用者に迷惑をかけないように努めた。
- ・ 主任による注意・指導・アドバイスをを行いながら、業務効率化、連携強化、状況判断能力の向上を図れるよう努めた。

3) 運営管理② (リスクマネジメント)

- ・車両トラブル時における業者への連絡等の対応マニュアルの整備を図った。(作成途中)
- ・運営会議にてヒヤリハット報告を行うと共に、データ分析を行い、改善に努めた。

4) 人事管理

- ・ホームページの掲示板への書き込みを積極的に行い、施設のPRに努めた。
- ・各職種・段階ごとの人材育成マニュアルの作成に取り組んだが、未だ作成途中となった。

5) 設備管理

- ・ケースに応じて特養の個別浴槽を積極的に使用するようにはしていたが、該当ケースがなかった。また、個々のニーズに応じたアクティビティが実施できるよう器具を増やした。
- ・ホール内(特に下部)の暖が確保できるよう残り1台の大型エアコンを交換した。

6) 防災対策

- ・山口市主導の避難所の指定に対する協議・確認、必要な調整は、行政からの連絡がないため実施していない。
- ・BCPの策定については検討段階。感染症対策部門では義務化となった実地訓練を実施。(ビデオ撮影による評価・課題分析を実施)

3 介護保険事業・総合事業の実績

()は前年度

	定員	営業 日数	稼働率 %	平均要介護 度	年間延べ 利用人員	一日平均 利用人員
通所介護	18	308 (310)	73.8 ↑ (65.0)	1.53 ↑ (1.50)	4,093 ↑ (3,628)	13.3 ↑ (11.7)
総合事業			10.8 ↑ (9.5)	0.56 ↑ (0.50)	601 ↑ (532)	2.0 ↑ (1.7)
合計			84.7 ↑ (74.6)	1.41 ↑ (1.37)	4,694 ↑ (4,160)	15.2 ↑ (13.4)

4 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4月	花まつり(中止)、花見(お花見御前)
5月	母の日行事(手作りおやつは中止、花束と記念写真で対応)
6月	父の日行事(手作りおやつは中止、花束と記念写真で対応)
7月	七夕飾り作り・夏祭り、おやつ作り(中止)
8月	夏祭り週間行事(中止)、ソーメン流し(中止)、
9月	賀宝敬老祝賀会(デイホールにて表彰・余興)、月見団子作り(中止)
10月	芸術の秋作品制作(書道、活け花、ぬり絵)
11月	佐山地区ふるさと祭り(作品出品)、紅葉狩り、干支づくり
12月	もちつき・たこあげの会(餅つきは中止、デイホールでイベント実施) 年末大掃除(業者ワックスがけ)
1月	新年会(職員による余興)
2月	節分(豆まき)
3月	ひなまつり(未実施)

※毎月、誕生日会（プレゼント贈呈）を実施。ケーキ作りは中止。

5 ボランティアの受入れ

- 1) 年間行事（特養と一体的に対応）
 - ・特養事業報告を参照
- 2) 定例の受入れ
 - ・昨年度に引き続き、全面的に中止

6 地域交流・公益的活動

- 1) 介護予防出張講座（特養と一体的に対応）
 - ・特養事業報告を参照（デイの対応なし）
- 2) 運営推進会議

開催時期	出席者数	主な会議の内容
10月末	0人	現況報告の資料を配布のみ（7件）
3月末	0人	〃

7 実習生の受入れ

- ・なし

8 体験学習（特養と一体的に対応）

- ・川西中学校職場体験学習 ……4名

9 施設見学（体験利用）、個別相談事業（市社協）の受入れ

- ・対外的施設見学 ……不可
- ・体験利用／見学 ……17名（うち、12名利用）
- ・個別相談 ……2名

10 施設維持補修等

建物設備の補修（外壁工事）	3,245,397円
居室エアコン取替工事費（デイホール）	423,000円
その他の維持補修	0円

多機能ホーム遠波の里白松苑

1 事業概要

「家庭や地域での心豊かな生活を支える」を目標に、地域密着型介護サービスの制度の趣旨に基づき、利用者が家庭や地域で普段と変わらない心豊かな日々の暮らしを維持していく為のサービスを、「通い」「訪問」「泊まり」の機能を活用して提供しました。

2 主要事業

- 1) 稼働率の向上
 - ① 居宅サービス事業所、医療機関との連携により稼働率（年平均 92%）の目標を達成できた

2) 住み慣れた地域、住み慣れた環境の中での生活の維持を念頭にした、援助内容の見直しと実践

- ① 一人ひとりの状況に合わせ、その時々に応じ家族や職員間で協議し臨機応変に対応し在宅生活の継続に努めた。
- ② 家族、事業関係者と緊密な情報提供を図りきめ細かいサービスの提供に努めた。
- ③ コロナ禍で外出する機会は減ったが、利用者のADLに合った制作活動や散歩等における歩行訓練をおこない機能訓練の実施に努めた。
- ④ 職員間の連携、チームワークを図るため連絡ノートを活用、又は口頭で話し合い情報共有に努めた。
- ⑤ コロナ感染症のクラスター発生はなかった。
感染症蔓延防止の研修は行ったが、蔓延した時を想定した訓練を行っていない。

3) コロナ禍における運営推進会議や地域行事への参加について、ICTを活用した方法等を検討する。

- ① コロナウイルス感染防止のため、会議を中止し資料送付のみ行った。
- ② IOCTを活用した運営推進会議や地域との交流の実施までは至らなかった。

3 介護保険事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1月平均
登録	25	25	25	25	25	25	24	24	25	25	25	25	298	24.8
通い	390	375	368	384	383	388	406	395	406	388	375	373	4,631	13
泊り	239	232	216	225	233	245	251	248	256	265	240	229	2,870	7
訪問	117	117	117	119	118	116	117	110	122	99	114	123	1,389	4
介護度	1.15	1.15	1.25	1.30	1.28	1.32	1.35	1.35	1.32	1.32	1.29	1.29		1.28
稼働率	100	100	100	100	100	100	96	96	100	100	100	100		99

4 季節の行事

実施時期	内 容
4月	花見
5月	端午の節句・母の日行事
6月	父の日の行事
7月	七夕の行事
8月	お菓子作り
9月	月見会・敬老会・お彼岸
10月	ミニ運動会・ハロウィンの行事
11月	コスモス見学
12月	クリスマス会・ゆず湯
1月	習字・初詣
2月	節分・バレンタインデー
3月	ひな祭り・ホワイトデー

5 運営推進会議

コロナウイルス感染症予防のため会議は開催せず、昨年同様、奇数月に利用状況や活動報告などの資料を送付した

6 ボランティア・出張講座

- ・ありの会 6月、12月 (草取り、窓ふき)
- ・ミントの会 9月、10月、11月 (草取り)
- ・散髪ボランティア (辻田さん、宮崎さん)

- ・ロコモティブシンドロームの出張講座
7/14 (木) 小郡 新町東公民館 20人

7 施設内設備の修繕

- | | | |
|------------|-----|----------|
| ・ホール椅子買い替え | 16客 | 211,200円 |
| ・浄化槽 ブロワ交換 | | 52,800円 |